

甲府市議会だより

第143号

平成16年11月1日

編集・発行

甲府市議会だより

編集委員会

電話 (235) 7054

甲府市議会事務局



(相川小運動会にて)

市長提案12案件を可決

9月定例会

決算審査特別委員会を設置

本会議を傍聴してみませんか

本会議では、皆さんの代表である議員の活動や審議状況等を傍聴することができます。議会事務局までお問い合わせ下さい。次の定例会は12月の予定です。



九月定例会は九月三日に招集され、会期を十四日までの十二日間と定め、市長から提案された補正予算、条例の一部改正、市道路線の認定等について審議しました。

九月八日、九日及び十日の三日間は、議案に対する質疑及び市政一般質問が行われ、各会派より十三名の議員が代表質問・一般質問を行い、市の考え方をいただきました。

十三日に行われた各常任委員会では、本会議で付託された議案及び請願について慎重に審査しました。

最終日の本会議では、各常任委員長から委員会審査の経過と結果が報告され、採決の結果、議案はいずれも当局原案のとおり可決されました。

また、平成十五年度甲府市各会計別決算並びに各企業会計別決算の認定については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中継続審査とすることを決め、閉会となりました。

九月定例会の動き

九月定例会には、補正予算、条例の一部改正、市道路線の認定、市政功労表彰の決定、人権擁護委員候補者の推薦等の議案が提案され、審議の結果、原案どおり可決しました。

また、平成十五年度一般会計及び企業会計の決算については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中継続審査とすることになりました。

九月三日(金)

定例会初日は諸報告を行い、会議録署名議員の指名及び会期を決定した後、市長より提出議案全部に対する提案理由の説明を受け、この日の日程を終了しました。

九月八日(水)

休日と議案調査のため四日間休会后、再開した本会議は、市民クラブの代表質問から始まり、食器の洗浄用洗剤、中学校給食、小学校給食の残さい処理等について市の見解を求めました。

次に新政クラブの代表質問が行われ、市町村合併の基本的な考え方、市の市街化区域編入要望に対する県の考え方、市民への公平な市政運営等について市の見解を求めました。

次に政友クラブの代表質問が行われ、庁舎建設及び中核市構想の新総合計画への位置づけ、税収確保に向けた全庁的な取り組み、重要水防区域の監視・調査と高齢者等の避難マニュアル等について市

の見解を求めました。

続いて公明党の代表質問が行われ、上下水道事業の一体化、避難勧告と河川情報連絡委員制度、今後の市場のあり方等について市の見解を求めました。

九月九日(木)

質問第二日目は始めに日本共産党の代表質問が行われ、学校施設の耐震化、教育基本法、市町村合併等について市の見解を求めました。

代表質問の最後は日新クラブが行い、下水道料金未徴収に係る対応状況、市営住宅家賃滞納者への裁判訴訟提起、豊かな恵みを維持するための施策等について市の見解を求めました。

三人目からは一般質問に移り、政友クラブが本市の農業実態、課長昇任資格試験の導入、水害対策と洪水ハザードマップ等について市の見解を求めました。

次に公明党の一般質問が行われ、不妊治療費の助成、有価物回収と

資源物回収の一体化、ごみ有料化の目的等について市の見解を求めました。

続いて日本共産党の一般質問が行われ、小学校給食の民間委託、不燃ごみ収集業務の民間委託、本市独自の利用料減免制度の拡充等について市の見解を求めました。

九月十日(金)

質問最終日は、新政クラブの一般質問が行われ、学校給食のセンター方式、避難所の運営方法及び管理責任者、課長昇任資格試験の導入等について市の見解を求めました。

次に新政クラブの一般質問が行われ、新たな総合計画策定の考え方、防災行政用無線の活用、新たな医療体制によるメリットと今後の病院運営への経済効果等について市の見解を求めました。

次に民主党の一般質問が行われ、日曜窓口サービス拡大、小学校の統廃合問題、障害者の地域生活体験事業等について市の見解を求めました。

質問の最後は無所属の一般質問が行われ、市町村合併、小中一貫教育の導入、寿町地内 荒川左岸一号線等について市の見解を求めました。

また、追加提案された市政功労表彰の決定、人権擁護委員候補者の推薦を含む議案及び請願はそれぞれ所管の常任委員会に付託され

ました。

九月十三日(月)

この日は本会議は休会で、各常任委員会が開催されました。

九月十四日(火)

この日は、各常任委員長から委員会審査の経過と結果についての報告がありました。

総務委員会では、市政功労表彰の決定及び一般会計補正予算の二案については、全員異議なく当局原案のとおり可決しました。また、人権擁護委員候補者の推薦の二案については、全員異議なく当局諮問のとおり決定しました。

民生文教委員会では、国民健康保険事業特別会計補正予算については、全員異議なく当局原案のとおり可決しましたが、保険料減免制度の周知を十分に図るなか、徴収を行って欲しいとの要望がありました。また、一般会計補正予算等三案及び工事請負契約の締結については、全員異議なく当局原案のとおり可決しました。

経済建設委員会では、市道路線の認定及び一般会計補正予算については、全員異議なく当局原案のとおり可決しました。

環境水道委員会では、甲府市リサイクルプラザ条例の一部を改正する条例制定等三案については、全員異議なく当局原案のとおり可決しました。一般会計補正予算については、不燃ごみ収集業務の民

間委託を前提とした予算計上であり反対との意見がありました。採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決しました。

付託された案件は、いずれも委員長報告のとおり可決しました。追加提案された、平成十五年度甲府市各会計別決算の認定、甲府市各企業会計別決算の認定については、委員十四名で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託のう え、閉会中の継続審査とすることと決定し、九月定例会は閉会となりました。

九月定例会審議日程

9月3日(金)	開会、提案理由の説明
4日(土)	休会
5日(日)	休会
6日(月)	議案調査のため休会
7日(火)	会
8日(水)	本会議、質疑及び市政一般質問
9日(木)	本会議、質疑及び市政一般質問
10日(金)	本会議、質疑及び市政一般質問、各常任委員会付託
11日(土)	休会
12日(日)	休会
13日(月)	各常任委員会
14日(火)	本会議、各常任委員長報告、閉会

市政 質問



(要旨掲載)

小学校給食の直営 自校方式の堅持に ついて

市民クラブ 山田 厚

【問】現在、甲府市では小学校給食の民間委託も含めての在り方について検討が行われています。

甲府市の未来を担う子供達の教育や安全から公的責任の放棄につながる民間委託は避けるべきです。小学校給食は、コスト論ではすまない教育の根本に関わる問題です。市長は小学校給食の民間委託化について、どのようにお考えなのでしょうか。

【答】今、地方自治体は、分権型社会に対応した自立した自治体運営が求められています。市民サービスを低下させず、行政責任を果たすためには、行財政改革を進め、民間活力も導入する中で、効率的な行財政運営が必要であります。

小学校給食の運営方法については、現在、教育委員会、保護者を含む学校関係者による「小学校給食調理業務検討委員会」を立ち上げ、検討を重ねていますので、その検討結果を受けて判断して参ります。

都市づくりの対応 について

新政クラブ 上田 英文

【問】地方分権の主旨は、市町村が足腰を強くして自主自立の街づくりをやらねばならないと考えます。今回の地区計画という方式は、住民の意思を何も知らないところで進めているようですが、これに対する本市の取り組みをお聞かせください。

【答】本市は新しい都市づくり委員会での市町村長の意見陳述の機会や市議会における線引きの廃止を求める決議により、区域区分の

撤廃を主張して参りました。更に策定段階において、新山梨環状道路のインターチェンジやアクセス道路を含めた整備計画が明らかになった場合には、速やかに市街化区域へ編入することを強く求めて参りました。また、農地を都市的土地利用に転換したい意向は認識しています。環境・景観等や認定

農業者の育成と支援の観点から、バランスのとれた土地利用が必要であると考えています。これら諸問題については、それぞれの関係機関等と協議調整を行い、市街地と農地の秩序ある土地利用の実現に期待をして参りたいと思います。

下水道使用料未賦 課未徴収問題等 について

政友クラブ 谷川 義孝

【問】下水道使用料の徴収について、全庁職員体制による約七百名が、五月下旬から六月上旬、訪問対象世帯約八千四百件を訪問したとのことですが、現在の納入状況、また、訪問時の市民要望・意見の集約状況はどのようになっているのか。今後の対応についてお考えをお示しください。

【答】下水道使用料の徴収状況については、当初の調定は、一万二百五十三件で四億七千七百八十八

平成16年9月定例会質問要旨

氏名	所属	質問の要旨
山田 厚	市民クラブ 代表質問	学校栄養職員の配置について 統一献立について 小学校給食の直営自校方式の堅持について
上田 英文	新政クラブ 代表質問	リーダーシップの発揮について 都市づくりの対応について 甲府都市計画区域の構成市町村の再編について
谷川 義孝	政友クラブ 代表質問	下水道使用料未賦課未徴収問題等について 北部山岳地域振興計画について 史跡武田氏館跡の整備等について
中山 善雄	公明党 代表質問	信頼回復に向けた取り組みについて 防災メールサービスについて 東部浄化センターの汚泥処理施設について
加藤 裕	日本共産党 代表質問	「三位一体の改革」について 学校施設の耐震化について 教育基本法について
小野 雄造	日新クラブ 代表質問	アテネオリンピックとスポーツについて 小学校運動場の照明使用料について 三ツ水門に係る自動転倒堰の撤去及びカワウ対策等について
佐藤 茂樹	政友クラブ 一般質問	今後の農業施策について 小中学校の英語教育の充実について 課長昇任資格試験の導入について
渡辺 礼子	公明党 一般質問	学校給食の牛乳パックの再利用について 家庭版環境ISOの導入について 戸別収集作業について
内藤 司朗	日本共産党 一般質問	平和行政について 留守家庭児童会の運営について 子どもの医療費窓口無料化について
駒木 明	新政クラブ 一般質問	都市計画道路 千塚三丁目羽黒町線の早期着工について 庁舎の建て替えについて 下水道の未接続と使用料について
桜井 正富	新政クラブ 一般質問	財政健全化への取り組みと今後の方針について 「災害弱者」に配慮した救助体系等、防災対策について 病院機能評価の活用と現状での取り組みについて
清水 節子	民主党 一般質問	年金法改正による保険料値上げについて 成年後見制度利用支援事業について 都市計画道路 善光寺町敷島線 伊勢工区の早期着工について
金丸 三郎	無所属 一般質問	職員の不祥事に対する見解について 市町村合併について 都市計画道路 善光寺町敷島線 伊勢工区について

円余でありましたが、九月七日現在で、納付・口座振替が確認されたものは、六千六百二十一件、全体の六十四・六％であります。戸別訪問をした市内は、全体で約八千四百件の内、五千七百七十九件で、市内全体の約七割であります。既に納入された金額は、一億五千六百八十七万円余で全体の三十二・九％となっております。

納付のご理解をいただけない方については、既に納付された方との公平性の確保を考慮し、今後とも訪問等を行い、信頼回復に努力し、収納率の向上を図って参ります。

信頼回復に向けた取り組みについて

公明党 中山 善雄

【問】下水道未収金問題が発生して、半年が経過しました。市長は、この半年間、市民に対して信頼を回復し、二度とこのような問題を起こさないために、市役所の改革をどのように行ってきたのか、お伺いいたします。

【答】一連の不祥事は、市民の信頼を喪失し、市民の負託に基づき市政推進を行っている甲府市にとって、危機的状況であると認識しております。

これを契機に、組織内のコミュニケーションの向上や事務管理面

での相互チェック体制の強化、更には、緊急かつ重要な案件へ、迅速に対処する体制の整備など、対応策を講じてきています。

今後は、能力・実績を重視した人事管理を図り、課長昇任資格試験の実施及び新人事評価制度の導入を進めて参ります。

また、改革に意欲的で、創造性豊かな人材の育成を図り、全体の奉仕者を再認識する中で、職員の間意識改革を進め、市民との信頼関係が成り立つ行政の再構築に向け、全力を傾注して参ります。

学校施設の耐震化について

日本共産党 加藤 裕

【問】学校施設の早期耐震化は、地震防災対策強化地域に指定された甲府市にとって、待ったなしです。以前、議会において「年次的に順次耐震診断を実施し、補強工事が必要な学校には耐震補強工事計画を策定し順次対応する」との答弁でした。地震はいつ起こるか分かりません。年次計画を前倒しし早急に耐震工事を完了するよう必要な予算措置を求めます。

【答】耐震診断を行う校舎については、本年度中に未実施の四校をもって完了し、九校の屋内運動場は、平成十七・十八年度に行う予

定です。補強工事は、本年度既に、池田小学校校舎に着手し、平成十七年度には羽黒小学校校舎を予定しています。改築施設としては、南西中学校校舎を本年度から行い、平成十七年度から、大里小学校校舎を予定しています。補強工事や改築については、計画の前倒しにより、早期に完了できるように鋭意努力して参ります。

【問】過日、スポーツ少年団の父兄が嘆いていました。小学校のグラウンド照明使用料が、団の予算を圧迫し、約三十万円の予算の内、十万円以上を照明使用料として支払い、用具、交流試合及び練習に影響があるとのこと。平成十五年度のスポーツ少年団の野球及びサッカー利用状況は、一千四百九十八件で約百九十六万四千円となり、一件平均二十人としますと、三万人の子供達が年間使用していることになり。次代を荷う少年達の夢と希望のため、スポーツ振興にのっとり、照明使用料の無料化を望みますが、市長のご見解をお示しく下さい。

小学校運動場の照明使用料について

日新クラブ 小野 雄造

【問】F E T英語指導講師による英語教育の取り組みをどのように認識されているのか。また、F E T英語指導講師、あるいは国、県のJ E Tプログラム（外国人青年招致事業）によるA L T英語指導助手の増員はいかがでしょうか。また、F E T英語指導講師の小学校への訪問回数も限られています。改善方策をお示しく下さい。

【答】教育委員会では、平成二年度からデモン市教職経験者等を中学校にF E T英語指導講師として採用しています。各中学校では週三時間の英語の授業において、生徒の英語への関心などが年々高まっています。

次に、小学校児童への英語指導については、今年度より英語指導講師が、すべての小学校へ年間五回程度訪問できるよう改善を図っています。

【答】運動場の照明使用料については、社会体育施設として設置し

てきた目的から、スポーツ少年団に限らず、利用者から使用料をいただいています。なお、運動場の照明使用料については、受益者負担の原則も踏まえながら、今後の全体的な使用料等の見直しの際、検討して参ります。

小中学校の英語教育の充実について

政友クラブ 佐藤 茂樹

【問】F E T英語指導講師の小学校への訪問回数も限られています。改善方策をお示しく下さい。

【答】教育委員会では、平成二年度からデモン市教職経験者等を中学校にF E T英語指導講師として採用しています。各中学校では週三時間の英語の授業において、生徒の英語への関心などが年々高まっています。

次に、小学校児童への英語指導については、今年度より英語指導講師が、すべての小学校へ年間五回程度訪問できるよう改善を図っています。

【答】これまで本市の小中学校では環境教育に取り組み、子供達がいかにリサイクルによるごみの減量化や物の大切さ、環境保護などについて、社会科の学習や総合的な学習の時間を通じて、学んでいます。

【問】小学校給食の牛乳パックは、貴重な資源であり、リサイクルすることにより、ごみの減量化・環境対策にも大いに役立つものと考えます。

学校給食の牛乳パックの再利用について

公明党 渡辺 礼子

【問】小学校給食の牛乳パックは、貴重な資源であり、リサイクルすることにより、ごみの減量化・環境対策にも大いに役立つものと考えます。

本市の小中学校の牛乳パックは業者が回収していますが、回収されたパックに牛乳やストローが残っているため、すべて焼却しているとのこと。子供達にリサイクルに対する取り組みを、体験を通して教えることも教育の一環として大事なことです。限られた資源を有効活用するため、牛乳パックの再利用を提案いたします。

【答】これまで本市の小中学校では環境教育に取り組み、子供達がいかにリサイクルによるごみの減量化や物の大切さ、環境保護などについて、社会科の学習や総合的な学習の時間を通じて、学んでいます。

牛乳パックの再利用については、学校での取り組み方法の課題を検討するため、地域を育てる環境活動推進校であります国母小学校において準備が整い次第、環境教育の一環として、リサイクル活動に取り組んで参ります。

留守家庭児童会の運営について

日本共産党 内藤 司朗

【問】国や二十一の県が指導員増員の補助制度を始め、障害児受け入れの体制が進んでいます。

山梨県へ指導員増員の単独補助を求めるとともに、市単独で増員すべきではありませんか。

次世代育成支援行動計画では、初めて「十七年度の実施に向け、時間延長を検討する」と明記されました。親の労働実態に合わせた開設時間とすることが大切です。時間延長に向け、どのような検討が行われているのでしょうか。

市全体で百人を超える待機児童がいます。また、今年初めて、夏休みの待機児童が出ました。市の対応を伺います。

【答】留守家庭児童会における待機児童については、施設の整備を行い、その解消に努めています。開設時間の延長については、児童の安全確保等と併せて保護者負

担の検討を行い、この結果を踏まえて、実施して参りたいと考えています。

障害児の受け入れについて、指導員の加配や県への補助制度創設の要望等も検討して参ります。

下水道の未接続と使用料について

新政クラブ 駒木 明

【問】下水道事業は、莫大な資金を借入金を使って先行投資していただきますので、計画通りに事業を推進し、借入金の償還が必要です。

そこで、本管未接続の世帯が計画通りに接続していた場合、これまでに徴収できた金額はどの程度になるのか。また、これまでに徴収できなかったことにより、どのような影響が出ているのか、あわせてお尋ねします。

【答】平成十五年度末における供用開始区域内の水酸化世帯の割合は九十三・三五％であり、供用開始後三年以上が経過する未接続家屋は、平成十五年度末で二千二百六十一戸であります。

お尋ねの金額については、各年度の未接続戸数の動向を把握する上で、それぞれ供用開始時期が異なること、また、未接続家屋が新たに接続した場合、未接続から外れるなど未接続戸数が常に変化し、

流動的な要素があります。更に、金額を算出する上で下水道使用料改定の経過等も考慮しますと、接続戸数と金額の実数値の把握は困難な状況であります。

「災害弱者」に配慮した救助体系等、防災対策について

新政クラブ 桜井 正富

【問】本市が策定する地域防災計画において、お年寄りなど「災害弱者」に配慮した救助体系等、防災対策が図られていますか。災害発生時における、現実即した避難情報の迅速な伝達、避難勧告の機能強化、自主防災組織の充実強化を図る「災害弱者」の救助システムの構築等、今回の新潟県の災害を教訓に、本市においても再チェック、再確認されたと思いますか、どのような検討がされたか、お伺いします。

【答】災害発生時において、いかにして被害を最小限に食い止めるかが、防災対策の重要課題と認識しています。そのため、普段からの災害時の情報の収集と迅速で確実な伝達についての体制作りが重要とされています。また、自力では避難が難しい高齢者や障害者の避難支援の体制作りについては、

独居高齢者や障害者等の居住の状況を把握するとともに、自主防災組織や地元消防団等の活動に、地域住民が連携・協力する救助活動体制の充実・強化を図って参りたいと考えています。

年金法改正による保険料値上げについて

民主党 清水 節子

【問】政府の想定賃金上昇率を前提とすると、本年十月より平均所得のサラリーマンならば、毎年一万円の引き上げになり、会社も従業員と同額の年金保険料を納めなければなりません。経営者もつらいですが、それによりリストラされる従業員はもつとつらいです。

今、高齢者が泣いているのが、年金から引かれている介護保険料です。平成十二年十月から引かれ、平成十三年には倍額となり、年六回年金から引かれています。

年金問題について、市長のお考えをお示しください。
【答】本市においては、法定受託事務として、市町村事務とされた国民年金の各種届出の受理等を行っています。また、社会保険事務所などの協力・連携を密接に図りながら、老後生活の重要な柱となる年金制度の啓発に、より一層努めて参ります。

なお、介護保険制度は、現在、国において制度全般の見直しが進められています。これらの見直しの動向を注視しながら、対応して参りたいと考えています。

職員の不祥事に対する見解について

無所属 金丸 三郎

【問】一連の不祥事が続き、市民の側からみると、市役所ほどの程度これらの問題に対応しているのか、という疑問がわいてきます。

市長に、不祥事全般に対する見解について、ご確認をさせていただきます。

【答】全体の奉仕者として、公正・公平な行政執行を任務とする公務員にとって、市民からの信頼は不可欠です。市民の信頼を確保するためには、職員一人ひとりが、市民の期待や要望に真摯に対応する姿勢を持つとともに、市民の声に積極的に耳を傾け、市民と職員が心の通う関係をつくり上げることが重要であります。

管理職をはじめ全職員に対して、あらゆる機会をとらえ、適正な事務処理の徹底と市職員としてのありべき姿について、強く論じてきたところですが、今後も全職員一丸となって、意識の改革や資質の向上に取り組んで参ります。



意見書

関係機関へ提出

地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書

平成十六年度における国の予算編成は、「三位一体の改革」の名のもとに、本来あるべき国・地方を通ずる構造改革とは異なり、国の財政健全化方策に特化されたものと受け取らざるを得ず、著しく地方の信頼関係を損ねる結果となった。

こうした中、政府においては、去る六月四日に「経済財政運営と構造改革に関する基本方針二〇〇四」が閣議決定され、「三位一体の改革」に関連して、概ね三兆円規模の税源移譲を前提として、地方公共団体からの具体的な国庫補助負担金改革を取りまとめることが要請されたところである。

地方六団体は、この要請に対し、去る八月二十四日に、国と地方公共団体の信頼関係を確保するための一定条件をもとに、地方分権の理念に基づく行財政改革を進めるため、税源移譲や地方交付税のあり方、国による関与・規制の見直しに関する具体例を含む「国庫補

平成16年9月甲府市議会定例会議案審議結果

議案番号	件名	付託委員会	議決月日	結果
議案第64号	平成16年度甲府市一般会計補正予算（第2号）	分割	9月14日	原案可決
議案第65号	平成16年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	民生文教	9月14日	原案可決
議案第66号	平成16年度甲府市老人保健事業特別会計補正予算（第3号）	民生文教	9月14日	原案可決
議案第67号	平成16年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	民生文教	9月14日	原案可決
議案第68号	甲府市リサイクルプラザ条例の一部を改正する条例制定について	環境水道	9月14日	原案可決
議案第69号	甲府市と石和町との間におけるごみの処理に係る事務の委託の廃止について	環境水道	9月14日	原案可決
議案第70号	甲府市と笛吹市との間におけるごみの処理に係る事務の委託について	環境水道	9月14日	原案可決
議案第71号	市道路線の認定について（山宮団地1号線）	経済建設	9月14日	原案可決
議案第72号	工事請負契約の締結について	民生文教	9月14日	原案可決
議案第73号	市政功労表彰の決定について	総務	9月14日	原案可決
議案第74号	平成15年度甲府市各会計別決算の認定について	決算審査特別		閉会中継続審査
議案第75号	平成15年度甲府市各企業会計別決算の認定について	決算審査特別		閉会中継続審査
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	総務	9月14日	諮問のとおり決定
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	総務	9月14日	諮問のとおり決定
甲議第10号	議会運営委員会の補欠委員の選任について	省略	9月14日	内藤司朗選
甲議第11号	地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書提出について	省略	9月14日	原案可決
甲議第12号	議員派遣について	省略	9月14日	派遣決定
甲推第1号	農業委員会委員の推薦について	省略	9月14日	依田敏夫推薦を決定
	決算審査特別委員会委員の選任について	省略	9月14日	選任

助負担金等に関する改革案」を政
府に提出したところである。

よって、国においては、「三位
一体の改革」の全体像を早期に明
示するとともに、地方六団体が取
りまとめた今回の改革案と我々地
方公共団体の思いを真摯に受止め
られ、次の前提条件を十分踏まえ、
その早期実現を強く求めるもので
ある。

- 一 国と地方六団体との協議機関
を設置すること。
- 二 税源移譲、地方交付税措置を
一体的、同時に実施すること。
- 三 確実に税源移譲が担保される
改革とすること。
- 四 地方交付税により確実な財源
措置を行うこと。
- 五 臨時的かつ巨額の財政負担と
なる施設整備事業に対する財政
措置を講じること。
- 六 地方への一方的な負担転嫁は
絶対に認められないこと。
- 七 新たな国庫補助負担金等の創
設は認められないこと。
- 八 地方財政計画作成に当たって
は、地方公共団体の意見を反映
させる場を設けること。

請願・陳情審査結果

- 閉会中継続審査
- ・教育基本法改正反対の意見書採
択を求める請願
- ・ごみ業務の民間委託と有料化を
行なわないことを求める請願

決算審査特別委員会を設置

本定例会に「平成十五年度甲
府市各会計別決算の認定につい
て」及び「平成十五年度甲府市
各企業会計別決算の認定につい
て」の議案が提出されました。

議会で、九月十四日の本会
議で、これを審査するための
「決算審査特別委員会」を設置
しました。

そして、委員十四名を次のと
おり決め、閉会中の継続審査に
付することにしました。

委員会の審査結果は、十二月
定例会で報告される予定です。



委員長 小野 雄造
副委員長 谷川 義孝

委員	駒木 明	桜井 正富
	清水 仁	奥石 修
	齊藤 憲二	柳沢 暢幸
	清水 保	堀内 征治
	内藤 泉	石原 剛
	小越 智子	山田 厚

農業委員を推薦

学識経験を有する者の中から選
ぶ委員の推薦が行われ、依田敏夫
議員を全員異議なく推薦するこ
とに決しました。

人事案件

本定例会に、人権擁護委員候補
者の推薦についての議案が提出さ
れ、全員異議なく諮問のとおり決
定しました。

- 人権擁護委員 佐藤 溥
- 小林 律子

市政功労表彰

三氏を可決

本市自治の振興、産業の振興並
びに文化の向上と、住民の福祉向
上のため尽力された功績が顕著で
あることから、次の方々をそれぞ
れ市政功労表彰者として決定する
議案が提出され、全員異議なく可
決しました。

- 上原 勇七 米山 武三
- 大久保幹雄

議会運営委員会

委員構成の変更

会派構成の変更に伴い、議会運
営委員会の委員に内藤司朗議員が
就任しました。

会派の構成に変更

日新クラブ所属議員の小野雄造
氏及び無所属議員の金丸三郎氏が
九月十三日付で新政クラブに、日
新クラブ所属議員の保坂一夫氏が
同日付で政友クラブに、民主党所
属議員の清水節子氏が九月十四日
付で市民クラブに、それぞれ会派
を変更したため、市議会の各会派
の構成人数は次のとおりになりま
した。

- ▽新政クラブ・十二▽政友クラ
ブ・九▽公明党・五▽日本共産
党・四▽市民クラブ・三▽無所
属・一

議員派遣

中華人民共和国四川省成都市と
の友好都市締結二十周年記念式典
出席のため、山村雄二副議長が九
月二十五日から九月三十日まで友
好訪問しました。

都市行財政の重点課題、地方振
興のための諸方策等について、内
藤幸男議員、清水節子議員、金丸
三郎議員が十一月四日から十一月
五日まで千葉市・市町村アカデミ
ーにて研修を受講します。

先進都市を視察

議会が閉会中でも、議員たちは
議案審査の参考に資するため、調
査・活動を続けております。

総務委員会

市民との協働によるまちづくり
・行政評価

宝塚市、春日井市、浜松市
民生文教委員会

ANS INメール制度・高齢者
自立支援事業 他

池田市、芦屋市、西宮市
経済建設委員会

都市公園整備・中心市街地活性
化・観光振興 他

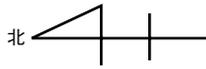
豊橋市、大垣市、大津市 他
環境水道委員会

ごみ有料化と分別収集・ごみ収
集の民間委託 他

明石市、大和郡山市、八木町
熱心に勉強してきました。

議会関係各室案内

電話 (055) 237-1161



《市役所本庁舎一号館二階》

議会関係各室の案内図です。
議員の控室は本庁舎一号館二階にあります。
また、本庁舎一号館入口右側に議員登庁表示板が設けてありますので、議員に面談などご用の方は表示板をご確認の上、議会事務局までお申し出ください。

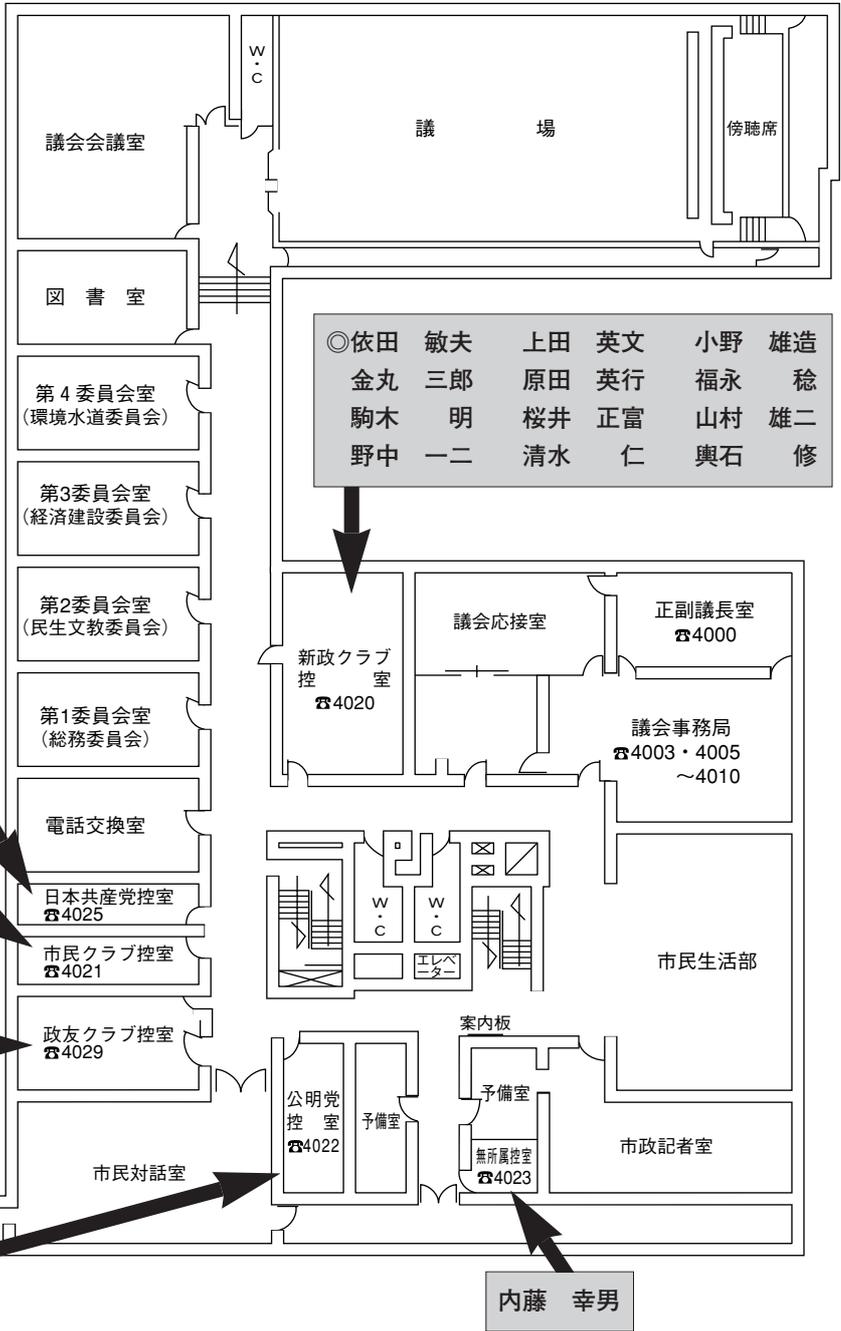
(◎会派代表者)

◎加藤 裕 石原 剛
小越 智子 内藤 司朗

◎中込 孝文 清水 節子
山田 厚

◎斉藤 憲二 森沢 幸夫
雨宮 年江 谷川 義孝
柳沢 暢幸 保坂 一夫
清水 保 佐藤 茂樹
荻原 隆宏

◎秋山 雅司 堀内 征治
中山 善雄 渡辺 礼子
内藤 泉



《本庁舎一号館正面入口》

甲府市議会インターネット情報

☆甲府市議会の会議録と議会だよりは、甲府市のホームページでも見ることができます。

URL : <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/>

☆議会、議員、議会だより等に関するご意見、ご質問はこちらにどうぞ。

gikai@city.kofu.yamanashi.jp

市議会だより編集 委員会の構成変更

会派構成の変更に伴ない、編集委員が、次のとおりとなりました。

- | | | | |
|------|-------|-------|------|
| 委員 | 山田 厚 | 内藤 泉 | 清水 仁 |
| 副委員長 | 内藤 司朗 | 荻原 隆宏 | 委員 |
| 委員長 | 内藤 司朗 | 森沢 幸夫 | 委員 |
| 委員 | 山田 雄二 | 山村 幸夫 | 委員 |